



915

手
藏

上

辻
板



假名手本忠義の藏入

倭者つらとらども今も世にまはるる身合と知れ奉り居りて
 りた武士の忠も武勇も徳もふたしと多不取名
 がたや、後不武に足利を以て今も直美公
 徳公八幡造、美濃守、美濃守、美濃守、美濃守
 彰田長右衛門の地、美濃守の地、美濃守の地

直美公

一宝
 綱公
 さんと
 りと
 後負う
 死の
 七の
 と分



伊豆山



つま げんくつ入のたつとん

早野勘平

○あつたりのついでに
あつたりのついでに
あつたりのついでに
あつたりのついでに

あつたりのついでに

あつたりのついでに

あつたりのついでに

あつたりのついでに

あつたりのついでに



あつたりのついでに

路馬坂伴内

あつたりのついでに

あつたりのついでに

あつたりのついでに

あつたりのついでに

あつたりのついでに

あつたりのついでに

あつたりのついでに

あつたりのついでに

あつたりのついでに

つぎ義太夫と
 次郎とととと
 大下あつとと
 多くく遊てゆ
 石堂右馬丞



判官

今度...
 の...
 へせ...
 判官...
 切後...
 付ら...
 あつと...
 高の...

↑さんまろ一か...
 「辨」うご...
 かの「...」
 「...」
 諸士の面々



大星力強
 と知るの...
 下...
 上...
 投...
 大星...
 判官...
 切後...
 付ら...
 あつと...
 高の...

つき 肌ぬぐい巾を垢の下より用その
 の白や粒々を洗い流すか載せぬす
 又分と違ふよ持てるの後にとつた
 立一折こその重なる元より城代大星
 中使と助死付とを判取ちやくも
 えぬひて中使と助と重なるの折子
 初つてでつらうナニと要細心ある
 まつり外只この上へ死者のほそ
 折るやうに下まきゆるいらふ者
 及ぶこの九すもりの海へ入送お
 とせつおき一折子一折のこま
 とくた切てた人あゝ島の終よる
 中使と助のあかりあり彼守

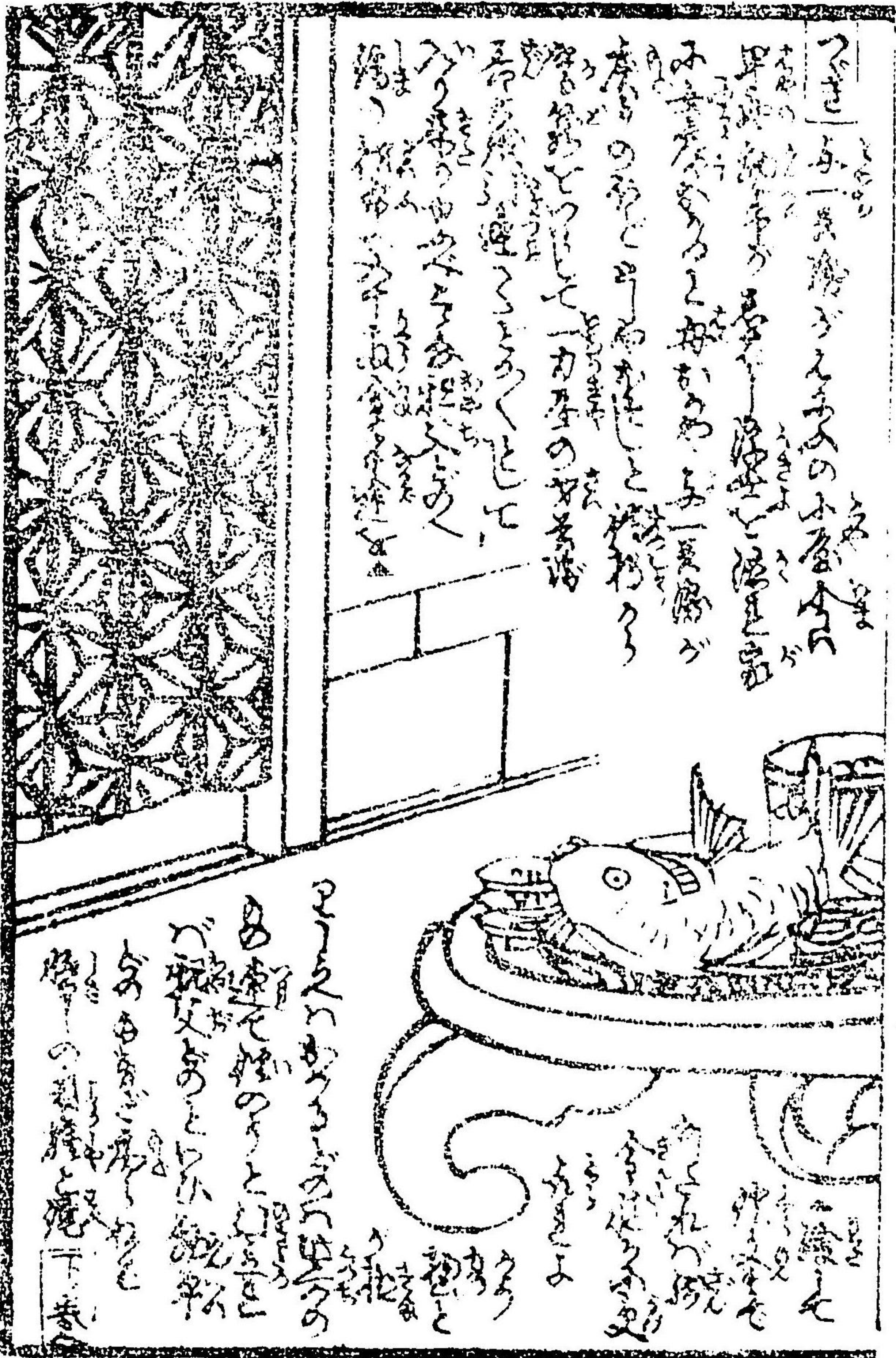
大星由良之助
 一月おぼろり情くも後判
 二か片居るを明しに知る
 べのちへとむきぬまやふ
 まる早中助平八このま
 まるのあやまりよま
 ありてはま入のあし情ふ後世
 とた後よぬあんとおひり
 かるるが教たよとまをまぬ
 後ともよ持人志しはま
 忠臣蔵
 忠臣蔵
 忠臣蔵



忠臣蔵
 忠臣蔵
 忠臣蔵
 忠臣蔵
 忠臣蔵

忠臣蔵
 忠臣蔵
 忠臣蔵
 忠臣蔵
 忠臣蔵





<p>新装三冊袋入 漬切物</p>	<p>新装園化... 漬うゑ大津法</p>
<p>合巻三冊四冊五冊 袋入漬切物</p>	<p>白雜来物、三十番</p>
<p>中巻用文字索引 算法其他</p>	<p>墨の小本</p>
<p>切付上下一代紀 実録物</p>	<p>一から六双六歌</p>

書物
錦繪問屋
地本

全

東京横山町三丁目

辻岡屋文助

